

翔陽

秋田

ワークセンター



下北手梵天奉納実行委員会 梵天お披露目

安心・安全にそして充実した日々を



社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

会長 伊藤英紀

視野を大きく広げて
明日に向かって

新年、あけましておめでとうございます。みなさんは、よいお正月をお迎えられたことと思います。私もおかげさまで、元気に新春を寿ぎました。

さて、私達をとりまく社会環境は、歴史上にも類をみないスピードで、少子高齢化が進んでいくという状況の中、世界経済のボーダーレス（国境がない）化、環太平洋連携協定（TPP）など、一方では地球温暖化対策の国連気候変動枠組み条約（COP21）締結、今世紀後半に世界の温室効果ガス排出量を実質的にゼロにするパリ協定が結ばれた。

このような、国際環境の激変の中でも、特にイスラム国の擡頭とテロへの恐怖は国際社会を震撼させております。

私達は今、国際社会における我が国の地位の向上とあいまって、好むと好まざるとにかかわらず、自身があらゆる面で、大きな変革を遂げなければならない時代となっております。

現実に、国から地方への権限移譲や、地方税財源の充実強化といった地方分権への流れも加速していくことが予想されます。中央集権から地方分権へ、開発一辺側から生活者重視へと、時代は今、魅力的な地域づくりの方向に向けて走り出しはじめております。

秋田ワークセンターで一緒に生活している皆さんが、ここに住んで良かったと実感し、他所の人達にも、ワークセンターに住み、一緒に働きたいと思わせる施設づくりはどう取り組んでいくのか、というのが新年に私に課せられた大きなテーマと考えております。そのためにも、現在取り組んでいるグループホームの建設に皆さんと一緒に一九となり、風雨強かるべき明日に向って、一生懸命、前進を続ける決意であります。

どうか今年も、一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さんにとりまして、幸せ多い年でありますようお願い申し上げます。私の新年のご挨拶といたします。

新しい年を迎えて

所長 佐藤 茂 仁



皆様、明けましておめでとございます。雪も少なく、穏やかなお正月を迎えられたことと存じます。

施設では、昨年来、平成二十八年一月から運用が開始されます、マイナンバー制度への対応に苦慮しております。利用者及び職員を対象にマイナンバー制度を理解するための研修会を開催し、またカードの受取り方法、管理の仕方等について利用者の方々一人一人と確認を行いながら、安全の確保に努めているところです。

また、クラウドを利用した個人番号の管理システム及びそれぞれに対応した給与ソフトの導入や、関係する規程の整備や改正に向けた準備を進めており、個人番号の情報漏洩防止や適正な運用・管理に向けて着実に取り組んでおります。

さて、今年「障害者総合支援法三年後の見直し」や、「社会福祉法人制度改革」。そして「障害者差別解消法」の施行など、施設を取り巻く環境がまたひとつ変わる年であります。

併せて、利用者や家族の高齢化への対応や、障害の重度化に伴う支援量の増加など、取り組まなければならないことが山積しております。

しかしながら、マイナンバー制度への対応も含め大切なことは、利用者の声に寄り添いながら、職員一人一人がコンプライアンスを高め、情報を共有し、結束して職務にあたることだと思えますし、その実現に向け、今年も努力して参りたいと考えております。今年も引き続き、皆様のご協力、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。今年も引き続き、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

第13回 秋田県障害者スポーツ大会 9/12

メダル総数は16個と昨年にあと一歩及びませんでした。フライングディスクにおいては、練習を重ねた結果、強風のコンディションにも関わらず、メダル獲得数2個という健闘で、来年へ大きな期待が見えました。参加された皆様も「楽しかった!」「来年こそは!」と笑顔と意気込みの溢れた大会となりました。



優勝できたかな?



ディスクはくぐったかな?

下北手中学校体験学習 7/14~16

利用者との関わりを通して自分を見つける

一年生6名が体験学習を行いました。就労支援課では軍手の糸切りや印刷物の計束作業。生活支援課では風船バレーやスカットボール等の機能訓練を行いました。

この体験学習が、施設や障害者への理解を深め、自分を見つめ将来を考える良い機会になったようです。



一緒に機能訓練



おいしくたべて!!



はじめての体験だけど楽しい

秋田県三大囃子の一つとして数えられる土崎港ばやし保存港和会様による「港ばやし」の披露では、利用者や来賓の方から感動の声が聞かれ、また生のお囃子での盆踊りでは参加者も多く大変盛り上がりしました。



踊りはたのしいよ!!



美しい踊りを披露いただきました

ワ
ー
ク
セ
ン
タ
ー
祭
り

9/16



感動の港ばやし



とてもおいしいなー

交通安全講習会

10/5

秋田東警察署交通課の高橋巡査を講師に迎え、県内の交通事故発生状況や交通安全の心構えなどに関する事について、イラストなどを使いながら分かりやすく丁寧に話され、たくさんの方が質問されました。「止まる」「見る」「確かめる」を徹底するように話され、交通安全の意識が高まりました。



しっかり止まってくださいネ



わかりやすく、とても参考になりました

地区リンピック

9/13



今日は一生懸命がんばります!!

今年は突然の豪雨にみまわれ、行進を行った時点で無念の途中帰寮となりました。

競技に参加できなかったことは残念ですが、子どもたちの無邪気に駆けまわる様子や、元気いっぱいに行進する姿に、こちらまで元気をもらい、参加された利用者の方たちも楽しめました。



皆さん気合いが入っています!!

火災時模擬煙体験訓練 10/14

ワークセンター駐車場にて火災時の模擬煙体験を実施しました。

火災が発生したときは、煙による人災が起きる場合が多々あり、煙による人的被害が起こることを回避するために煙体験をして、火災発生時には落ち着いて避難するというもので、体験した利用者の方々は、「目の前が見えなくなり怖かった」、「初めての煙体験で貴重な体験ができた。火災時には落ち着いて避難できそうだ」という声が聞かれました。



煙の怖さを実感しました

だまご交流会 10/14

下北手小学校児童とのだまご交流会では、地域のボランティアの方々にもお手伝いをして頂き、だまごやキリタンポ作りを体験しました。利用者の保護者さんからいただいた収穫したてのお米を、悪戦苦闘しながらこね、児童と触れ合う貴重な時間となりました。

お味のほうはとても美味しくお替わり続出。最後は元氣いっぱいの子供による、合唱や合奏のプレゼントがあり、皆さん聞き入っていました。



なつかしい笛の音



うまく出来た?

かたちを整えて...



健闘を祈ってフレフレー!



がんばるぞー!!



がんばりました



マスコットと一緒に



応援ありがとう!!



良い成績を残せました

全国障害者スポーツ大会の秋田県代表に当施設から就労A型利用者の棟方信吾さんが選出されました。秋田県代表のユニフォームにそでを通し、ワークセンターの皆様の熱い声援を受けて気合十分。大会では素晴らしい結果が予想される会となりました。

紀の国わかやま大会に秋田県代表として参加されました。参加種目はジャベリックスクローと走り幅跳び。力強いプレーで練習の成果を大いに発揮してきました。

ジャベリックスクローが第二位銀メダル、走り幅跳びが第三位銅メダルという、素晴らしい結果を残すことができました。皆様、応援ありがとうございました。

壮行会

大会の様子

報告会

全国障害者スポーツ大会

クリスマス会 12/9

今年も「参加型」のクリスマス会となりました。昨年より行われている腕相撲大会や、今年新たに企画された額へ吸盤を貼り付けて引っ張り合う吸盤相撲が行われ、利用者や家族などが応援や選手として楽しみ、笑い声が絶えませんでした。

また、公式アームレスリング台を借用し、本格的に対戦したことにより、白熱したバトルができました。

最後はサンタさんによるクリスマスプレゼントもあり、楽しい思い出になりました。



負けられない戦いがここに…



とてもおいしいね!!

集中!

どこの町のサンタかな?

負けられね

私の方が強いわよ!

まいったなー!

もうだめだー!

心いきいき芸術文化祭

福祉展で2名が入賞 合唱は努力賞



12/15・16

安いですよ、買ってください〜い

秋田拠点センターアルヴェで開催されました「心いきいき芸術文化祭」では、今年も障害者福祉展へ5作品を出展、製品販売では各種軍手を広く紹介・販売する良い機会となりました。パフォーマンスステージへの出演は2回目となり、なによりも仲間の激励等思い出に残る文化祭となりました。

審査の結果、福祉展では菊地俊太郎さんが金賞、小野千寿子さんが奨励賞を受賞しました。また念願でありました生活介護利用者共同制作の壁飾りも出展することができ、日々の創作活動への意欲につながったようです。パフォーマンスステージでは4名が2曲を歌い今年も努力賞、緊張で一杯いっぱいになりながらも「がんばったよ」という言葉と笑顔に、来年への伸びしろを感じる事ができました。



少し緊張ぎみ…

皆さんの「ヨイショ！ヨイショ！」の合いの手に合わせながら協力してつき、出来上がったお餅はかうどん・きな粉餅・あんこ餅・ゴマ餅にして美味しく頂きました。



いがいと重いなー



おいしくなーれ

第8回 秋田東地区安全運転管理者協会主催

セーフティ・ドライバーズ 100日コンテスト

「交通安全は、地域・職場の連帯から」を合言葉に、参加者が相互に連携し、安全意識の高揚を図るとともに、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることを目的として、今年も4チーム20名が、8月1日から11月8日までの100日間実施され、参加3チームの無事故無違反が達成できました。これからも個々の交通安全への意識の向上に取り組んで行きます。



皆さん力作ぞろいで、力強い文字を書く人もいれば、味わいのある文字を書く人もおり、皆さん楽しみながら筆を走らせていました。



ワークセンター展



うまく書けてるぞ



ここでとめて…

施設内研修

- ◆救急救命講習会 6/24
- ◆施設の感染予防対策 10/14

土田看護師による「緊急時の判断・対応」「感染症対策」、城東消防署の救命士による「救急救命講習会」、外部講師を招いての「心の健康について」等を行いました。その他、職員視察研修の報告会もプロジェクターを使って写真を見たり、感想発表を行ったりしています。今年度の新しい取り組みとして「心の健康について」の研修は、近年ストレス社会と言われ、どの職場でも多くなって来ていることもあり、とても感心がありました。



これくらいの強さかな？



しっかり対策

秋田市番号制度導入推進室の方を招いて、出前講座を開きました。皆さん、真剣に聞き入っていました。



みなさん真剣に聞いてます



むずかしいな～

マイナンバーとは、住民票を持っている国民一人一人に配布される、12桁の番号です。

マイナンバー制度が導入されて得られる事

1. 公平・公正な社会の現実

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を受けることを防止できます。

2. 国民の利便性の向上

添付書類の削減など、行政手続きが簡素化され、国民の負担が軽減されます。また、行政機関が持っている自分の情報を確認したり、行政機関から様々なサービスのお知らせを受け取ったりできるようになります。

3. 行政の効率化

行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されるようになります。

マイナンバーは一生使うものです。大切にしましょう。

ノロウイルスにご用心!!

看護師 土田 エリ子

ノロウイルスが口から体内に侵入し24～48時間で下痢、おう吐、腹痛、発熱などの症状が出現し、通常は3日以内に回復しますが、感染力が強く集団発生もみられます。

今年には新型のウイルスが出現し流行が拡大する可能性があると言われていますが、症状や予防方法に変わりはなく、以下の点について取り組みながら、感染症の発生予防や拡大防止を図っていきましょう。

一、手洗いをする。

排泄後・食事前・調理前などは、手の指先（爪）、指と指の間、手首など石けんをよく泡立てて洗い流水で流します。

二、食品は十分加熱をして食べる。

特にウイルスが蓄積しやすい二枚貝（かき、しじみ等）は、良く加熱して食べましょう。（85～90℃ 90秒以上加熱をすればウイルスの感染力は失う）

三、適切におう吐物、便の処理をする。

下痢便やおう吐物を処理する時は、使い捨ての手袋を使用し素手で接触しないようにします。また、塩素系消毒薬（市販のハイター）を使用し消毒を行います。処理後の手洗いも石鹸、流水で時間をかけて行います。

*ハイター消毒液の作り方 1ℓの水にハイター500cc弱を入れる。

四、下痢、おう吐などの症状がある場合は、休養をする。

感染拡大防止のため、職場、学校、施設（通所）などは無理をせず早めに休み、回復につとめましょう。

全国社会福祉協議会

永年勤続功労者表彰



七月三十日、佐藤所長が日比谷公会堂にて全国社会福祉大会・民間社会福祉団体功労を授彰されました。この表彰は、長年にわたり障害者団体に勤務し、秋田県における障害者福祉関係事業の推進、身障者団体の育成・指導など、多方面にわたり活動し、身障者の社会参加の推進及び身障者福祉の向上に尽力を尽くした方に送られるものです。今後也更なる活躍をご祈念いたします。

ボランティアのご紹介



いつも行事のたびにお手伝いしていただいている、下北手地区民生児童委員・家族会保護者の皆さん・他下北手の地域の皆さんです。忙しいところ、いつもありがとうございます。

新任職員紹介



生活支援員 門田 明

介護職は久々の復帰となりますので、まだ不慣れでご迷惑をおかけしてしまつ事もあるかと思いますが、ご利用者様や施設職員の方々から教えていただき技術や知識を吸収して一日も早く皆様のお役に立てる様に精一杯頑張ります。



生活支援員 薄田 類子

介護職は何年か経験してきましたが、ワークセンターでは新人として一つ一つしっかりと仕事を覚えて、早く皆様のお役にたてるよう、初心に戻って頑張りたいと思っております。

寄付・寄贈

日本アムウェイ合同会社様

嵯峨 重博さんのご家族様

小野 千寿子さんのご家族様

齊藤 憲一さんのご家族様

石山 久美子さんのご家族様

鈴木 輝彦さんのご家族様

上村前所長様

利用者入退所

○就労継続支援A型利用

棟方 信吾様 (4月)

○就労継続支援B型利用

佐藤 裕太様 (4月)

藤島 広幸様 (4月)

保坂 達也様 (9月)

○施設入所・就労継続支援B型利用

佐藤 初枝様 (6月)

加藤 貴博様 (7月)

嶋田 昭彦様 (12月)

中田 和明様 (28年1月)

○施設入所・生活介護支援利用

打矢 清美様 (8月)

桑原 竹夫様 (12月)

○退所

鎌田 恵望様 (4月)

中野 貴仁様 (4月)

佐々木 ゆかり様 (4月)

加藤 やす子様 (8月)

編集後記

今年の冬は例年よりも暖かく、過ごしやすと感じているのではないでしょうか。健康管理には十分に気を付け、ウインタースポーツで体を鍛えましょう。

(佐藤)